

事業報告書

指定試験機関名：公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

検 定 職 種：ブライダルコーディネーター

事 業 年 度：平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

事 項	状 況
実施した技能検定の概要	別紙「技能検定実施結果報告書」のとおり
<p>1 試験科目の認定等</p> <p>(1) 指定試験機関技能検定委員の選任の状況</p> <p>【能開則第63条の9第3項及び第4項に関する事項についての状況】</p> <p>(2) 試験問題等の作成等の状況</p> <p>【能開則第63条の9第1項に関する事項についての状況】</p> <p>(3) 試験問題の水準調整の状況</p> <p>【能開則第63条の9第1項に関する事項についての状況】</p> <p>2 技能検定試験の実施等</p> <p>(1) 公示・公表の状況</p> <p>① 実施公示の状況</p> <p>【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実</p>	<p>指定試験機関技能検定委員55名（技能検定委員名簿を添付）</p> <p>うち、試験問題作成委員 9名</p> <p>実技試験採点委員 9名</p> <p>うち、当該事業年度において</p> <p>新規に選任した者 55名</p> <p>試験業務等に変更があった者 0名</p> <p>解任した者 0名</p> <p>事業計画では、11月に学科試験および実技試験担当として8地域より150名を選任する計画であったが、1級および2級の受検者数ならびに合格者数が少なかったこと、地域に偏りがあったことから、札幌、仙台、広島、沖縄からの選任を見送り4地域とし、選任者数も縮減した。</p> <p>指定試験機関技能検定委員会を7回開催した。</p> <p>そのうち、</p> <p>全体委員会 2回</p> <p>実技試験問題作成に係るもの 3回</p> <p>学科試験問題作成に係るもの 2回</p> <p>平成30年12月18日に東京にて、全国の首席者による水準調整会議を開催、その後、平成31年1月23日大阪、1月24日名古屋、1月28日東京において、各地域の水準調整会議を開催した。</p> <p>事業計画では地域での水神会議を8ヶ所で実施する計画であったが、1級および2級の受検者数ならびに合格者数が少なかったこと、地域に偏りがあったことから、札幌、仙台、広島、沖縄の開催を見送り、4地域とした。</p> <p>運営するホームページ上において、平成30年9月3日から平成31年3月29日にかけて掲載し公示した。このうちインターネット経由の電子申請によるものは3433件であった。</p>

<p>施公示の状況】</p>	<p>また、受検案内リーフレットを作成し、全ての受検対象者に対して行き渡るよう、関係団体等に計10,000部配布し、周知を図った。</p>
<p>② 実技試験問題の概要、 合否基準並びに試験問題 及びその正答の公表の状 況 【規則第63条の6第2項に關する 事項のうち、公表に關する計 画】</p>	<p>実技試験の概要は、運営するホームページ上において平成30年12月26日に掲載し、公表した。 合否基準は、実施公示に記載して公表した。 試験問題及びその正答は、運営するホームページ上において、1級及び2級学科については平成30年12月5日に、3級学科については平成30年2月1日にそれぞれ掲載し、公表した。 また、各受検者に対する受検票の送付に併せて、実技試験問題の概要、合否基準について通知するとともに公表した。</p>
<p>(2) 受検申請書の受付の状況 【法第47条第1項に關する事項 に關する状況】</p>	<p>1級及び2級については平成30年10月1日から10月31日にかけて受付を行い、1級は192件、2級は150件の申請を受け付けた。また、3級については平成30年11月12日から12月10日にかけて受付を行い、3374件の申請を受け付けた。</p>
<p>(3) 受検資格審査及び試験免 除資格審査の状況 【能開則第64条の7及び第65条 の2の運用状況】</p>	<p>受検資格を審査した結果、2級については1名の者が受検資格を満たさなかった。また、試験免除資格に該当した者はいなかった。</p>
<p>(4) 受検票等の交付に係る状 況 【法第47条第1項に關する事項 に關する状況】</p>	<p>申請事項が適正なものに対して、1級及び2級については平成30年11月13日に、3級については平成31年1月10日に受検票を受検者あて発送した。</p>
<p>(5) 実技試験の実施の状況 【法第47条第1項に關する事項 に關する状況】</p>	<p>実技試験の実施状況は、別紙1のとおり。 事業計画では2級実技試験の実施会場は、全国8会場を計画していたが、学科試験の合格者数および実技試験申請者の希望試験会場を踏まえ、札幌、仙台、広島、沖縄を除く、4会場で実施した。</p>
<p>(6) 学科試験の実施の状況 【法第47条第1項に關する事項 に關する状況】</p>	<p>学科試験の実施状況は、別紙1のとおり。</p>
<p>(7) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に關する事項 に關する状況】</p>	<p>合否判定基準に基づき、1級については17名を合格と判定、2級については16名を合格と判定、3級については、2547名を合格と判定した。(計2580名合格)</p>
<p>(8) 合格者の発表等の状況 【法第47条第1項に關する事項</p>	<p>1級及び2級については、平成31年3月26日の厚生労働省による技能検定の合否決定に基づき、平成31年3月29日に合格通知を合格者あて発送した。3級につ</p>

<p>についての状況】</p>	<p>いては、平成31年3月11日の厚生労働省による技能検定の合否決定に基づき、平成31年3月5日に合格通知を合格者あて発送した。</p>
<p>(9) 合格証書の交付等の状況 【法第49条、能開則第68条の2 に関する事項についての状況】</p>	<p>1級ブライダルコーディネーター作業に係る合格証書については、厚生労働省より50枚の送付を受け、そのうち17枚を使用し、令和元年5月8日から6月5日にかけて手交又は郵送により合格者に交付した。2級ブライダルコーディネーター作業に係る合格証書については、16枚作成し、平成31年3月29日に合格者あて郵送により交付した。</p>
<p>3 その他</p>	
<p>(1) 秘密保持義務、業務制限 等の周知状況</p>	<p>秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、役職員に対しては平成30年10月の理事会にて別紙2によって周知し、指定試験機関技能検定委員に対しては平成30年9月に実施した検定委員会及び平成31年1月から2月にかけて実施した水準調整会議にて別紙2によって周知した。</p>
<p>(2) 試験業務に関する内部監 査の実施状況</p>	<p>試験業務に関与していない鈴木直樹理事を監査担当者に任命し、平成31年3月29日技能検定試験業務を対象に監査を行った。監査結果は別紙3のとおり。</p>
<p>(3) 合格証書の再交付等の状 況 【法第49条、能開則第69条に関 する事項についての状況】</p>	<p>再交付の申請はなかった。</p>
<p>(4) 特例講習の実施状況</p>	<p>特例講習会は、実施していない。</p>

注) 状況欄に厚生労働大臣に承認された事業計画及び収支予算を併記することなどによって、承認された計画と実績の差違を明確に記載すること。

2018 年度技能検定実施結果報告書

1 実施日程

等級	学科・実技	公示日及び受検案内・申請書配布期間	受検申請受付期間	試験日・期間	合格発表
1 級	学科	平成 30 年 9 月 3 日～ 10 月 31 日	平成 30 年 10 月 1 日～ 10 月 31 日	平成 30 年 12 月 4 日	平成 30 年 12 月 26 日
	実技	平成 30 年 9 月 3 日～ 1 月 25 日	平成 31 年 1 月 7 日～ 1 月 25 日	平成 31 年 2 月 18 日、 2 月 26 日	平成 31 年 3 月 25 日
2 級	学科	平成 30 年 9 月 3 日～ 10 月 31 日	平成 30 年 10 月 1 日～ 10 月 31 日	平成 30 年 12 月 4 日	平成 30 年 12 月 26 日
	実技	平成 30 年 9 月 3 日～ 1 月 25 日	平成 31 年 1 月 7 日～ 1 月 25 日	平成 31 年 2 月 19 日～ 2 月 27 日	平成 31 年 3 月 25 日
3 級	学科	平成 30 年 9 月 3 日～ 12 月 10 日	平成 30 年 11 月 1 日～ 12 月 10 日	平成 31 年 1 月 31 日	平成 31 年 2 月 28 日
	実技	平成 30 年 9 月 3 日～ 12 月 10 日	平成 30 年 11 月 1 日～ 12 月 10 日	平成 31 年 1 月 31 日	平成 31 年 2 月 28 日

2 試験実施会場

等級	学科・実技	試験会場
1 級	学科	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄
	実技	東京（2/18）、大阪（2/26）
2 級	学科	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄
	実技	東京（2/21）、名古屋（2/19）、大阪（2/27）、福岡（2/25）
3 級	学科及び実技	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄 及び 団体受検を希望した短期大学・専門学校（80 校）

3 実施状況

群別		項目	等級			計
			1級	2級	3級	
免除なし ▶	学科・実技とも受検 (甲)	(1)受検申請者数	46	41	3374	3461
		(2)学科試験合格者数	46	41	2844	2931
		(3)実技試験合格者数	17	16	2810	2843
		(4)技能検定合格者数	17	16	2547	2580
	学科のみ受検(乙)	(5)受検申請者数	146	108	0	254
		(6)学科試験合格者数	0	1		1
	実技試験のみ受検 (丙)	(7)受検申請者数	0	0	0	0
		(8)実技試験合格者数	0	0		0
実技免除 B (学科のみ受検)		(9)受検申請者数	0	0	0	0
		(10)技能検定試験合格者数	0	0		0
学科免除 C (実技のみ受検)		(11)受検申請者数	0	0	0	0
		(12)技能検定合格者数	0	0		0
両方免除 D		(13)受検申請者数(技能検定合格者数)	0	0	0	0
計	受検総計	(14)受検申請者数(1)+(5)+(7)+(9)+(11)+(13)	192	149	3374	3715
	学科	(15)学科受検申請者数 (1)+(5)+(9)	192	149	3374	3715
		(16)学科合格者数 (2)+(6)+(10)	46	42	2844	2932
		(17)学科合格率 (16)／(15)×100	24.0%	28.2%	84.3%	78.9%
	実技	(18)実技受検申請者数 (1)+(7)+(11)	46	41	3374	3461
		(19)実技合格者数 (3)+(8)+(12)	17	16	2810	2843
		(20)実技合格率 (19)／(18)×100	37.0%	39.0%	83.3%	82.1%
	合格総計	(21)技能検定合格者数(4)+(10)+(12)+(13)	17	16	2547	2580
	合格率(%)	(22)技能検定合格率 (21)／(14)×100	8.9%	10.7%	75.5%	69.4%

(注) 合格率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記。

平成30年度 ブライダルコーディネーター技能検定 収支決算書

平成30年7月23日より平成31年3月31日まで

事業の名称	ブライダルコーディネーター技能検定
事業の内容	ブライダルコーディネーター技能検定試験の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

区分	科目	予算額	決算額	差異
(1) 経常収益				
事業収入				
	検定受検料収入	44,208,000	28,000,600	-16,207,400
雑収入				
	雑収入			
経常収益計		44,208,000	28,000,600	-16,207,400
(2) 経常費用				
事業費	研 修 費	24,477,660	4,271,082	-20,206,578
	印刷製本費	1,186,020	2,245,360	1,059,340
	広報費	0	421,200	421,200
	給料手当	9,775,000	10,530,780	755,780
	旅費交通費	850,000	934,940	84,940
	支払報酬	0	2,386,500	2,386,500
	賃 借 料	2,670,700	2,243,876	-426,824
	通信費	0	318,055	318,055
	発送配達費	1,870,000	681,270	-1,188,730
	水道光熱費	114,750	86,942	-27,808
	支払保険料	107,100	77,255	-29,845
	消耗品費	107,100	247,025	139,925
	新聞図書費	17,850	20,285	2,435
	リース料	433,500	573,885	140,385
	福利厚生費	0	834,951	834,951
	雑費	0	115,372	115,372
管理費	給料手当	1,725,000	456,232	-1,268,768
	旅費交通費	150,000	0	-150,000
	賃 借 料	471,300	395,978	-75,322
	通信費	0	41,815	41,815
	発送配達費	330,000	0	-330,000
	水道光熱費	20,250	11,430	-8,820
	支払保険料	18,900	13,633	-5,267
	消耗品費	18,900	26,409	7,509
	新聞図書費	3,150	1,669	-1,481
	リース料	76,500	101,274	24,774
	福利厚生費	0	147,344	147,344
経常費用計		44,423,680	27,184,562	-17,239,118
経常外収益計		0		
経常外費用計		0		
当期正味財産増減額		-215,680	816,038	1,031,718

平成30年度技能検定実施状況報告

(平成31年3月 日～平成31年3月 日の間に厚生労働大臣が合格者の決定を行ったもの)

職種名: プライダルコーディネーター

指定試験機関名: 公益社団法人日本プライダル文化振興協会

●1級

項目	免除なし								実技免除 (学科のみ受検)	学科免除 (実技のみ受検)	両方 免除	計							
	学科・実技とも受検				学科のみ受検		実技のみ受検					受検 総計	学科		実技		合格 総計		
	① 受検 申請者 数	② 学科 試験 合格者 数	③ 実技 試験 合格者 数	④ 技能 検定 合格者 数	⑤ 受検 申請者 数	⑥ 学科 試験 合格者 数	⑦ 受検 申請者 数	⑧ 実技 試験 合格者 数					⑨ 受検 申請者 数	⑩ 技能 検定 試験 合格者 数	⑪ 受検 申請者 数	⑫ 技能 検定 合格者 数		⑬ 受検 申請者 数 (技能 検定 合格者 数)	⑭ 受検 申請者 数
作業名																			
1級プライダルコーディネーター	46	46	17	17	146	0	0	0	0	0	0	0	0	192	192	46	46	17	17
合計	46	46	17	17	146	0	0	0	0	0	0	0	0	192	192	46	46	17	17

●2級

項目	免除なし								実技免除 (学科のみ受検)	学科免除 (実技のみ受検)	両方 免除	計							
	学科・実技とも受検				学科のみ受検		実技のみ受検					受検 総計	学科		実技		合格 総計		
	① 受検 申請者 数	② 学科 試験 合格者 数	③ 実技 試験 合格者 数	④ 技能 検定 合格者 数	⑤ 受検 申請者 数	⑥ 学科 試験 合格者 数	⑦ 受検 申請者 数	⑧ 実技 試験 合格者 数					⑨ 受検 申請者 数	⑩ 技能 検定 試験 合格者 数	⑪ 受検 申請者 数	⑫ 技能 検定 合格者 数		⑬ 受検 申請者 数 (技能 検定 合格者 数)	⑭ 受検 申請者 数
作業名																			
2級プライダルコーディネーター	41	41	16	16	108	1	0	0	0	0	0	0	0	149	149	42	41	16	16
合計	41	41	16	16	108	1	0	0	0	0	0	0	0	149	149	42	41	16	16

●3級

項目	免除なし								実技免除 (学科のみ受検)	学科免除 (実技のみ受検)	両方 免除	計							
	学科・実技とも受検				学科のみ受検		実技のみ受検					受検 総計	学科		実技		合格 総計		
	① 受検 申請者 数	② 学科 試験 合格者 数	③ 実技 試験 合格者 数	④ 技能 検定 合格者 数	⑤ 受検 申請者 数	⑥ 学科 試験 合格者 数	⑦ 受検 申請者 数	⑧ 実技 試験 合格者 数					⑨ 受検 申請者 数	⑩ 技能 検定 試験 合格者 数	⑪ 受検 申請者 数	⑫ 技能 検定 合格者 数		⑬ 受検 申請者 数 (技能 検定 合格者 数)	⑭ 受検 申請者 数
作業名																			
3級プライダルコーディネーター	3374	3844	2810	2547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3374	3374	3844	3374	2810	2547
合計	3374	3844	2810	2547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3374	3374	3844	3374	2810	2547

平成30年度技能検定実施関係報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に合格発表を実施した技能検定試験に関する手続き)

職 種 名：ブライダルコーディネーター

指定試験機関名：公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

※職種でとりまとめた数をご記入ください。

1 平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に合格発表を実施した技能検定試験に係る受検申請について

	全等級合計
インターネットによる受検申請者数	3,433人

2 平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に行った手続きについて

	全等級合計
合格証書の再交付申請者数	0人
うち、インターネットによる再交付申請者数	0人

3 平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に行った手続きについて

指定試験機関技能検定委員選任の届出回数	3回
指定試験機関技能検定委員解任の届出回数	0回